

全鉄連流通動態調査結果表 2020年2月分

(2020. 3. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		1月実績	前月比	2月実績	前月比	2月実績	前月比	2月実績	前月比	
異 形 棒 鋼	東京	6,509	105.6%	38,968	99.8%	38,839	100.3%	6,638	102.0%	
	大阪	2,632	92.2%	17,678	110.7%	18,013	111.2%	2,297	87.3%	
	愛知	5,876	100.8%	7,339	102.2%	7,241	101.5%	5,974	101.7%	
	計	15,017	101.1%	63,985	102.8%	64,093	103.3%	14,909	99.3%	
形 鋼	山 形 鋼	東京	18,823	99.9%	8,888	103.1%	8,278	95.8%	19,433	103.2%
		大阪	19,703	95.4%	9,301	125.2%	8,385	100.2%	20,619	104.6%
		愛知	13,048	99.8%	6,095	97.9%	6,017	96.3%	13,126	100.6%
		計	51,574	98.1%	24,284	109.0%	22,680	97.5%	53,178	103.1%
	溝 形 鋼	東京	16,512	99.4%	6,369	113.3%	5,706	99.6%	17,175	104.0%
		大阪	10,562	89.2%	5,102	126.8%	5,129	96.7%	10,535	99.7%
		愛知	8,441	93.5%	4,379	103.4%	4,429	91.9%	8,391	99.4%
		計	35,515	94.7%	15,850	114.2%	15,264	96.3%	36,101	101.7%
	H 形 鋼	東京	33,369	102.0%	13,802	81.8%	14,410	88.8%	32,761	98.2%
		大阪	45,466	103.5%	24,379	100.7%	24,149	106.5%	45,696	100.5%
		愛知	26,646	109.3%	12,572	86.2%	13,919	112.9%	25,299	94.9%
		計	105,481	104.4%	50,753	91.2%	52,478	102.4%	103,756	98.4%
合 計		192,570	100.8%	90,887	99.0%	90,422	100.1%	193,035	100.2%	
コ ラ ム	東京	8,492	98.7%	2,771	105.0%	2,746	99.7%	8,517	100.3%	
	大阪	13,874	99.9%	3,886	113.8%	3,321	97.0%	14,439	104.1%	
	愛知	2,382	101.1%	1,457	147.8%	1,536	160.0%	2,303	96.7%	
	計	24,748	99.6%	8,114	115.3%	7,603	106.5%	25,259	102.1%	
軽 量 C 形 鋼	東京	3,209	109.7%	2,376	98.9%	1,901	89.8%	3,684	114.8%	
	大阪	3,114	107.8%	1,348	76.7%	1,537	100.3%	2,925	93.9%	
	愛知	2,789	99.6%	1,572	108.5%	1,344	92.1%	3,017	108.2%	
	計	9,112	105.8%	5,296	94.4%	4,782	93.6%	9,626	105.6%	
総 計		241,447	100.9%	168,282	101.0%	166,900	101.4%	242,829	100.6%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。